



春

Wa

2021 spring
Vol.58

- ◆ チーム医療の活動紹介
「感染制御チーム(ICT)と
新型コロナウイルス感染症対策」
- ◆ がん診療について
「外来化学療法
～外来で行うがん薬物療法について～」
- ◆ 専門診療のご案内
「心房細動におけるカテーテル治療について」
- ◆ 連携登録医の紹介
- ◆ 栄養だより
「塩麴と筍の炊き込みご飯」

◆チーム医療の活動紹介◆

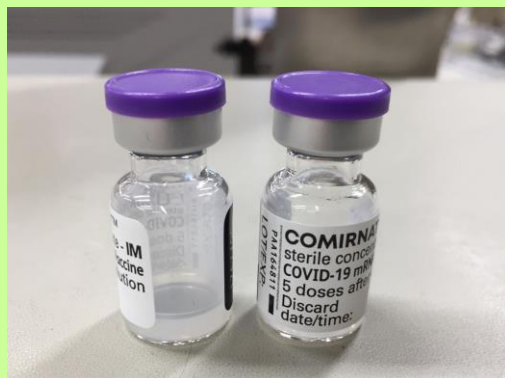
感染制御チーム(ICT)と新型コロナウイルス感染症対策

感染症内科副部長 白野 倫徳

感染制御チーム(ICT)では、感染症の原因となる病原体が病院内で広がるのを防ぎ、患者さんと職員を守るため、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員が連携して活動しています。

新型コロナウイルス感染症の流行が拡大し、1年以上が経過しました。実際に感染症患者さんの治療を行うのは感染症病棟や集中治療室ですが、新型コロナウイルス感染症と診断される前の患者さんは、一般外来、救急外来などを訪れたり、一般病棟に入院していたりすることもあります。職員が感染し、症状が出ないまま勤務を続けていることもあります。このような場合に他の患者さんや職員に感染が拡大することのないように、誰に対しても行う「標準予防策」が重要になります。マスク着用、手指消毒は当然のこと、患者さんと接する際にゴーグルやフェイスシールドを着用したり、接触状況によってはガウンやエプロンを着用したりしています。ICTではこのような感染対策の支援を行っています。

現在では、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種を進めています。



▲新型コロナウイルスワクチン

先行して接種されている海外での報告では、ワクチン接種によって感染率のみならず、重症化率や死亡率も低下することが明らかになりました。発熱、倦怠感などの全身症状や接種部位の痛みや腫れなど、副反応の頻度が高いことが報告されていますが、これらはワクチンによる正常な免疫反応と考えられます。また、アナフィラキシーショックなどのアレルギー反応も不安視されていますが、問診でのアレルギー歴の確認や、万が一発生した時の適切な救急処置にて、リスクを低下させることは可能です。

医療従事者に次いで一般の方のワクチン接種が始まりますが、基礎疾患のある方やご高齢の方は特に、自治体の案内に従い、ぜひとも接種を受けていただきたいと思います。



▲ワクチンの準備

とはいえ、ワクチンに対して過度な期待は禁物です。変異株の流行や、新たな流行の波の到来が懸念されています。引き続き、手指消毒をまめに行う、マスクを着用する、「密閉」、「密集」、「密接」の3つの「密」を避けるなどの対策の継続は必要です。

1日でも早く元通りの生活に戻れるよう、私たちはこれからも感染症と闘ってまいります。



▲ワクチン接種の実際



◆がん診療について◆

外来化学療法 ～外来で行うがん薬物療法について～

腫瘍内科部長 駄賀 晴子

外来化学療法とは、患者さんが通院でがんに対する薬物療法や免疫疾患に対する生物製剤などを実施することをいいます。以前は入院でしか行えなかった治療も、薬物療法の進歩により短時間での投与が可能になったことや、副作用に対する支持療法（副作用を軽減するための薬剤）の確立により最近では外来で薬物療法を実施することが増えてきました。

当院の外来化学療法は、12階にある外来化学療法室で行っており、28床のリクライニングチェアと5床のベッドの計32床で運営しております。



がんに対する薬物療法は一般的な薬剤とは異なり特殊な管理が必要であり、その取扱いには専門性の高い知識と技術が必要となります。外来化学療法室のスタッフは主に医師、薬剤師、看護師、栄養士で業務を行っており、がん治療を専門とする腫瘍内科医師を中心とし、高い専門性をもったがん専門薬剤師やがん化学療法看護認定看護師が在籍しており、患者さんが安全に安心して治療を継続できるよう、協力しながら治療のサポートを行っています。



外来化学療法室では昨年度13928件の薬物療法が行われており、年々増加傾向となっております。外来で薬物療法を受ける患者さんが増えるということは、患者さんにとって今までと同じようにご自宅で生活ができるというメリットがある一方で、副作用が起こった際に患者さんご自身で判断や対処を行う必要が出てくるという問題点もあります。この問題に対して患者さんやご家族に安心して外来化学療法を受けていただくために、外来化学療法室では様々な取り組みを行っています。治療を受けていただく際には、医師だけでなく、薬剤師や看護師からも副作用の説明や何かあった時の連絡方法や連絡すべきタイミングの説明を必ず行っています。この説明は、患者さんご自身に対してだけでなく保険調剤薬局やかかりつけ医、訪問看護ステーションの看護師さんとも共有するために、個別に治療内容や薬剤ごとの特徴的な副作用、副作用に対してどのようなことに気をつける必要があるのかなどを記載した用紙をお渡ししています。



患者さんの治療と生活の両面を支えるために、病院と地域が一つのチームとなってサポートしていくことが私たちの目標です。



▲コアメンバー

◆専門診療のご案内◆

心房細動におけるカテーテル治療について

循環器内科医長 占野 賢司

心房細動におけるカテーテル治療について

今回、「心房細動」の治療に関するご紹介をさせていただきます。心房細動は高齢化とともに増加し、現在、100万人以上の患者さんがいると推定されています。心房細動は心房がけいれんを起こし、脈が不規則になってしまう不整脈です。心不全や脳梗塞を引き起こし、寿命を短くすることが知られています。近年、認知症とも関連していることがわかっています。

心房細動の臨床的問題点

死亡	死亡率の上昇（突然死、心不全、脳卒中による心血管死）
脳梗塞	全脳梗塞の20～30%が心房細動による
入院	心房細動患者の10～40%が毎年入院している
QOL	他の心血管疾患とは関わりなく、QOL（生活の質）は低下する
左室機能障害と心不全	心房細動患者の20～30%に心臓のポンプ機能低下がみられる
認知機能低下/血管性認知症	抗凝固療法下でも認知機能低下や血管性認知症が生じうる

心房細動の治療は①脳梗塞の予防と②心房細動自体の治療(脈の正常化)に分けて行います。

①脳梗塞の予防：抗凝固薬という血栓(血の塊)を防ぐ薬を飲むこととなります。しかし、抗凝固薬は消化管出血や脳出血など出血のリスクを高めます。出血の危険性の高い患者さんは使用を悩む場合も多く、その際に考慮するのが左心耳閉鎖術です。

②心房細動自体の治療(脈の正常化)：薬物治療とカテーテルアブレーション治療があります。アブレーション治療は心房細動の根治を目指したカテーテル治療です。

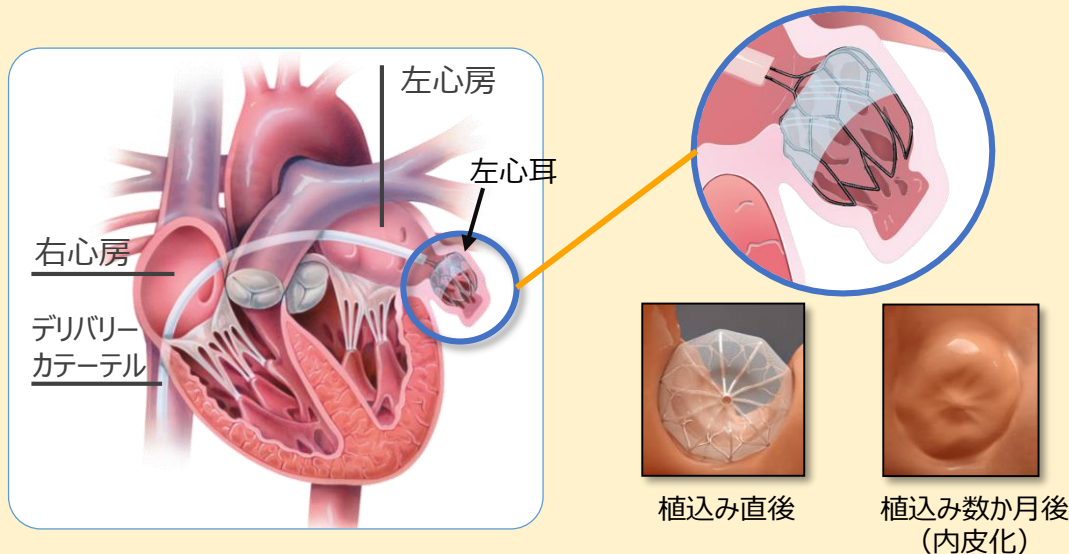
今回、心房細動に対する二つのカテーテル治療である、左心耳閉鎖術とカテーテルアブレーション治療のご紹介をします。

左心耳閉鎖術について

心房細動が原因となる(心原性)脳梗塞の予防として、抗凝固薬の有効性はよく知られています。しかし、抗凝固薬の副作用である出血の危険性も考えないといけません。出血リスクの高い患者さんの場合、抗凝固薬を投与するかどうか、悩む場合もあります。

一方で、左心房の中にできる血栓の90%以上が左心房内にある左心耳の中にできることが知られています。その左心耳を閉鎖することにより脳梗塞を予防し、抗凝固薬を飲まなくてもいいようにするのが左心耳閉鎖術です。

左心耳閉鎖術は、脳梗塞のリスクが高く、かつ、抗凝固薬による出血のリスクも高い患者さんが適応となります。



左心耳閉鎖術は全身麻酔で行います。手技時間は約1時間程度で3泊4日の入院が必要になります。数か月後には表面が内皮化され、抗凝固薬の中止ができます。

カテーテルアブレーション治療について

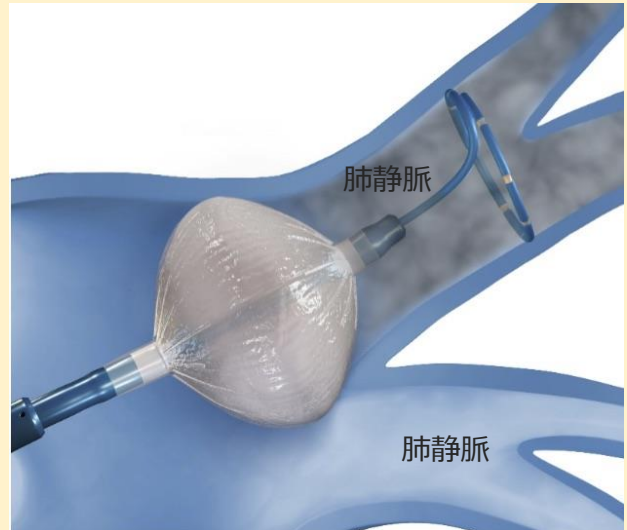
カテーテルアブレーション治療は心房細動の根治を目指したカテーテル治療です。心房細動の原因となる心房期外収縮(異常な電気信号)の約80%が肺静脈から起こることがわかっています。肺静脈を左心房から電氣的に切り離す(隔離)ことにより、原因となる肺静脈からの異常な電気信号が左心房内に伝わらないようにし、心房細動への移行を予防します。現在、高周波による熱で焼灼を行う高周波アブレーションと冷凍凝固によるクライオアブレーションの2種類の方法があり、患者さんの状態によって使い分けています。

<高周波アブレーション>



高周波アブレーション治療は高周波による熱を用いて治療を行います。上の図のように3Dマッピングシステムを治療のガイドとして用います。現在のアブレーションカテーテルは先端に接触圧やカテーテルの接触している方向が表示され、安全性だけでなく、有効性も向上しています。

<クライオアブレーション>



クライオバルーンは肺静脈に圧着させたバルーン内に冷却ガスを流し、冷却によるアブレーションを行います。肺静脈は4本ありますので1本ずつバルーンを用いて約3分間冷却を行います。肺静脈の治療に特化したカテーテルで短時間で肺静脈の治療が可能です。概ね、発作性心房細動の患者さんに使用します。

当科では、心房細動(心房頻拍)に対するカテーテルアブレーション治療を積極的に行っており、年間約250件のカテーテル治療を行っています。アブレーション治療の重篤な合併症として心タンポナーデ(心臓損傷)や脳梗塞がありますが、2019年、2020年とこれらの合併症はなく、安全に施行できています。治療成績も1度のアブレーション治療で治療後2年間の再発率は20%と良好な成績が得られています。アブレーション治療は心房細動が慢性化(常に心房細動となった状態)してから時間が経過するほど成績が悪化することが知られていますので、「**早期発見、早期治療**」が大切です。

心房細動に対するアブレーション治療は3泊4日の入院が必要となります。また、治療は静脈麻酔といって眠り薬を使って完全に寝ている状態で行いますので患者さんが痛みを自覚されることはありません。

<心房細動の早期発見のために>

- ・脈を測りましょう・・・脈の間隔が一定リズムでない場合は心房細動の可能性あります。
- ・自宅血圧を測りましょう・・・不規則脈波が表示されたり、'エラー'になる場合には心房細動かもしれません。
- ・定期健診を受けましょう・・・心房細動は心電図で診断できます。

※治療が必要かも!?と考えられる場合には、不整脈初診外来をご予約ください。

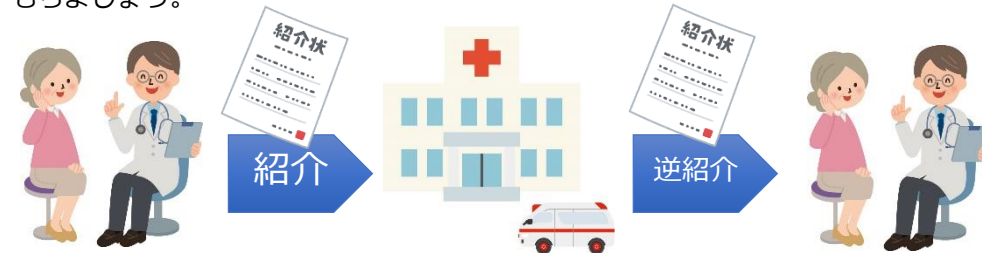
	月	火	水	木	金
午前	初診(成子)	初診(斎藤)	初診(阿部)	初診(成子)	初診(松本)
午後		PAD抹消動脈外来	不整脈初診(占野)		不整脈初診(林)

●紹介状(診療情報提供書)をご用意の上、地域医療連携室までお電話ください。地域医療連携室(☎06-6929-3643)



連携登録医のご紹介 (五十音順)

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



日常の診療・健康管理はかかりつけ医で

専門的な検査・治療は当院で

病状が安定したら再びかかりつけ医で

いわた耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック

院長 岩田 伸子 (いわた のぶこ)
 診療科 耳鼻咽喉科、アレルギー科
 住所 大阪市都島区都島本通3-20-3
 電話 06-6928-0234



岩田院長

院長あいさつ

当院は私の祖母が昭和の初めに産科婦人科の有床診療所として開院し、父が継承して80年以上の長きにわたり都島区の地域医療に尽力してまいりました。耳鼻咽喉科は感染症、アレルギーをはじめ感覚器や神経障害、頭頸部の腫瘍など幅広く診断、治療を行う分野です。小さなお子様からご高齢の方まで全ての患者様に優しく的確な医療を提供できますよう、今後も微力ながら努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (8:30~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (15:30~18:30)	○	○	×	○	○	×

※水曜、土曜午後、日曜祝日は休診 ※土曜は13:00まで

整形外科おおたきクリニック

院長 大瀧 隆博 (おおたき たかひろ)
 診療科 整形外科、外科、リハビリテーション科、リウマチ科
 住所 大阪市都島区毛馬町2-10-33
 電話 06-6922-0450



大瀧院長

院長あいさつ

当クリニックでは、単に病気を診るだけでなく、患者様としっかり向き合い信頼関係を築きながら、いつも元気でお過ごし頂けるような健康生活を応援いたします。また、交通事故でお怪我をなされた方々の支援にも力を入れており、被害者の皆様の思いを汲み取り、診察・リハビリを行っています。国立大阪南医療センターや大阪市立大学医学部の関連病院で培った経験と技術を、身近な地域医療に活かし、近隣の病院や医療機関とも連携しながら一貫した医療サービスをご提供できるよう努めております。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~19:00)	○	○	×	○	○	×

※水曜、土曜午後、日曜祝日は休診

おたきクリニック

院長 小瀧 慶長 (おたき よしなが)
 診療科 内科、腎臓内科
 住所 大阪市都島区都島北通1-13-13
 電話 06-6180-6700



小瀧院長

院長あいさつ

一般内科疾患全般にわたり診療いたします。各種腎臓疾患のほか、各種生活習慣病も診察いたします。当クリニックでは幅広い各内科疾患に対し、地域の各専門施設様と連携しながら、ご来院いただいたすべての患者さんに「このクリニックに来てよかった」と安心・納得して診療を受けていただけるような、親切心にあふれ地域に根ざした「かかりつけクリニック」をめざしスタッフ一同全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~13:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (16:00~20:00)	○	○	×	○	○	△

※水曜、日曜祝日は休診 土曜日 午前：9:00~12:30 午後：16:00~18:30

こばし内科クリニック

院長 小橋 裕司 (こばし ひろし)
 診療科 内科、消化器内科 (胃腸内科)
 住所 大阪市都島区中野町3-5-37
 電話 06-6882-2385



小橋院長

院長あいさつ

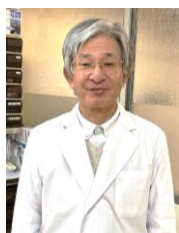
当クリニックでは、はっきりとした症状が出ている時はもちろん、なんとなく調子が悪い時や何科を受診したらいいのかわからない時、健康上の不安があって相談したい時でも、お気軽にご来院ください。日々の身体の変化を気兼ねなく相談できるかかりつけ医であること、患者さんにとって身近なクリニックであることを心がけています。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~13:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (17:00~19:00)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診

原医院

院長 原 豊人 (はら とよひと)
 診療科 内科、小児科、皮膚科
 住所 大阪市都島区都島本通3-1-5
 電話 06-6921-0862



原 院長

院長あいさつ

当院は、地域の皆様に頼りにされるかかりつけの医療機関として、より質の高い医療の提供を目指してまいります。何でも気軽に相談して頂ける医院を心がけて参りますので、微力ですが地域の方々の健康維持のお役に立てられるよう、スタッフ一同地域医療に頑張ってお参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (17:30~19:30)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診

ひげクリニック

院長 髭 勝彰 (ひげ かつあき)
 診療科 循環器内科、内科、リハビリテーション科
 住所 大阪市都島区都島本通3-24-6 1階
 電話 06-6929-5858



髭 院長

院長あいさつ

大阪市立大学医学部卒業後、長年心臓血管外科医として、また関連医療機関在職中に、循環器内科・内科一般・小児科・リハビリテーション科の研鑽を積んでまいりました。今後はこれまでの経験を活かし、微力ながら地域医療に専念し近隣の病院並びに介護施設とも連携をとりながら皆様のご希望に添えていく考えです。クリニックスタッフ一同、常に努力・研鑽をかさね患者さまにとって、わかりやすく・ていねい・安心していただける医療を提供してまいりたいと思っております。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (8:30~12:00)	○	○	○	○	○	○
午後 (16:00~18:20)	○	○	○	×	○	×

※木曜、土曜午後、日曜祝日は休診 月曜~土曜 在宅医療13:00~16:00

ふなうち内科クリニック

院長 船内 武司 (ふなうち たけし)
 診療科 循環器内科、内科
 住所 大阪市都島区友瀨町2-1-5
 電話 06-4253-5070



船内院長

院長あいさつ

ふなうち内科クリニックは平成12年11月1日に都島区のともぶちクリニックビル4Fでオープンした内科循環器科のクリニックです。高血圧・心臓病などの循環器疾患を専門領域とし、生活習慣病のうち、高脂血症、糖尿病、肥満など虚血性心疾患の危険因子となりうる疾患についての治療や生活指導を行っています。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (16:30~19:00)	○	○	×	○	○	×

※水曜・土曜午後・日曜祝日は休診

栄養だより

コロナ退散の秘訣は「腸にあり」!!

～シリーズ③「麴×食物繊維」～

●●● 栄養部 坂本 美輝

善玉菌を含む食品“麴”と善玉菌のエサになる食品“食物繊維”を一緒に摂ることで腸内環境が整い、免疫機能が鍛えられます。

「善玉菌を含む食品」…ヨーグルト、納豆、味噌、甘酒、**塩麴**など

(含まれる善玉菌：ビフィズス菌・納豆菌・乳酸菌・麴菌など)

「善玉菌のエサになる食品」…**筍**、**大麦**、きのご類、大豆、オリゴ糖シロップなど

(含まれる成分：食物繊維・オリゴ糖など)

●メニュー

【～塩麴と筍の炊き込みご飯～】

塩麴に含まれる「麴菌」と筍・大麦に含まれる「食物繊維」を使った腸活レシピ。桜えびを加えた春を感じるほんのりピンク色の炊き込みご飯です。

<栄養成分：1人あたり>

エネルギー：278kcal

たんぱく質：6.7g

脂質：1.0g 炭水化物：60g

食塩：2.0g 食物繊維：5.4g



材料 (2人分)

【具材】

- ・精白米…1合
- ・大麦…50g
- ・筍の水煮…60g
- ・桜えび…少々
- ・水…1合分の水の量+100cc
- ・酒…大さじ1/2
- ・白だし…大さじ1
- ・塩麴…大さじ1
- ・青ネギ…少々

A



～作り方～

- ① 米を研ぎ、炊飯器の目盛りに合わせて水を入れる。
- ② ①に大麦と大麦分の水分(100cc)を加え、軽くかき混ぜ30分ほど吸水させる。
- ③ ②にAを加え、軽くまぜる。
- ④ 適当な大きさに切った筍の水煮と桜えびを平らに乗せて炊飯する。
- ⑤ 炊きあがったら、底からしっかり混ぜ、お好みで青ネギをトッピングする。

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

インフォメーション

令和3年8月

小児医療センターWEB講演会決定!

令和3年9月

市民医学講座WEB開催決定!



- 今回はさくらホールではなく、WEB講演会になります。詳しくはホームページで確認をお願いします。

大阪市立総合医療センター

検索

■発行責任者：大阪市立総合医療センター

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

地域医療推進委員会委員長 山根 孝久

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

大阪市立総合医療センター

3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。

Humane

人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。

High-technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。